

信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例（水稻）

地域（標高）	木島平村（320～350m）
土壌（土性）	灰色低地土～グライ土（標高により）

	項目	生産計画の内容	補足メモ																																				
1 栽培 状況	(1) 品目	米（品種：コシカ、キビカ）																																					
	(2) 面積	218 a																																					
	(3) 栽培戸数又は労働力	2人																																					
	(4) 栽培期間	平成26年4月～平成26年10月																																					
	(5) 収穫期間	平成26年9月25日頃～平成26年10月10日頃																																					
	(6) 収穫量	H25実績 16,384 kg（うち出荷量：16,384 kg） H26計画 11,815 kg（うち出荷量：11,815 kg）	約9俵/10a 約9俵/10a																																				
2 栽培 方法	(1) 土づくり	土壌診断結果に基づき、村有機センターの牛糞堆肥ほかの利用を推進（食味にこだわり）																																					
	(2) 播種	平成26年 4 月 27 日																																					
	(3) 育苗	平成26年 4 月 27 日～5 月 25 日																																					
	(4) 田植え	平成26年 5 月 25 日～6 月 4 日																																					
	(5) 施肥	<p>○化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料は、収量、味とのかかわりがあるので、前年の倒伏状況を見ながら施肥を加減する。 ・基肥を化学肥料に代えて堆肥とし、追肥は有機質由来の有機配合肥料に置き換えている。 <p>○技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学ものは極力抑え、土地にやさしい資材の施用。 ・村内の堆肥を有効活用する。（畜産排泄物と廃オガによる地域循環型農業） <p>肥料の施用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">肥料の種類</th> <th rowspan="2">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="3">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th>窒素 うち化学由来</th> <th>リン酸</th> <th>加里</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完熟牛糞堆肥</td> <td>300～1000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アミノ薬元853</td> <td>50</td> <td>4.0</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>アミノ薬元853</td> <td>30</td> <td>2.4</td> <td>1.5</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>総合ミネラル宝素</td> <td>90</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>170</td> <td>6.4</td> <td>4</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>地区慣行施肥量 (kg/10a)</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>低減率 (%)</td> <td>100</td> </tr> </table>	肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)			窒素 うち化学由来	リン酸	加里	完熟牛糞堆肥	300～1000				アミノ薬元853	50	4.0	2.5	1.5	アミノ薬元853	30	2.4	1.5	0.9	総合ミネラル宝素	90				合計	170	6.4	4	2.4	地区慣行施肥量 (kg/10a)	9	低減率 (%)	100
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																																					
		窒素 うち化学由来	リン酸	加里																																			
完熟牛糞堆肥	300～1000																																						
アミノ薬元853	50	4.0	2.5	1.5																																			
アミノ薬元853	30	2.4	1.5	0.9																																			
総合ミネラル宝素	90																																						
合計	170	6.4	4	2.4																																			
地区慣行施肥量 (kg/10a)	9																																						
低減率 (%)	100																																						

2 栽培方法	(6) 病害虫防除	<p>○化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温湯種子消毒(10数年間実施) ・「たけだくん」による気象条件観測(週一)によるいもち病の発生予察 ・除草剤の体系防除、耕種的除草、畦畔除草(4回)による病害、虫害の低減。 <p>○技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温湯種子消毒：化学農薬(殺菌剤)の低減 ・「たけだくん」：IPM技術を地区全体で取り組み、諸情報の利活用でいもち病薬剤の低減を可能にしている。 ・除草剤は初中期除草剤で一旦処理し、ヒエ、ホタルイ等は、後期剤で対応。耕種的除草は、草多発ほ場では、田植え1ヶ月前に代かきによる浮かせ除草、また、秋起こしによる耕種的防除の実施。畦畔除草での通風改善により、病害・虫害の低減が図られる。 <p>病害虫防除の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用農薬名</th> <th>倍率・使用量</th> <th>有効成分数</th> <th>散布回数</th> <th>成分カウント</th> <th>除外カウント</th> <th>慣行回数への付加カウント</th> <th>地域慣行農薬使用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>殺虫殺菌剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>殺菌剤</td> <td>オリゼメート粒剤</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>殺虫剤</td> <td>フェルテラ箱粒剤</td> <td>50g/箱</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>除草剤</td> <td>ビクトリ-Z1粒剤</td> <td>1kg/10a</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>クンチャ-1粒剤</td> <td>1kg/10a</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>バガラン液剤</td> <td>500~700ml/10a</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植調剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>合計</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr> <td>農薬の使用回数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>削減率 (%)</td> <td>50.0%</td> </tr> </table>		使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	地域慣行農薬使用回数	殺虫殺菌剤									殺菌剤	オリゼメート粒剤	3~4kg/10a	1	1	1			5	殺虫剤	フェルテラ箱粒剤	50g/箱	1	1	1			3	除草剤	ビクトリ-Z1粒剤	1kg/10a	2	1	2			4		クンチャ-1粒剤	1kg/10a	1	1	1				バガラン液剤	500~700ml/10a	1	1	1				植調剤														合計	6	0	0	12	農薬の使用回数	6	地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	12	削減率 (%)	50.0%
		使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	地域慣行農薬使用回数																																																																																
	殺虫殺菌剤																																																																																								
	殺菌剤	オリゼメート粒剤	3~4kg/10a	1	1	1			5																																																																																
	殺虫剤	フェルテラ箱粒剤	50g/箱	1	1	1			3																																																																																
除草剤	ビクトリ-Z1粒剤	1kg/10a	2	1	2			4																																																																																	
	クンチャ-1粒剤	1kg/10a	1	1	1																																																																																				
	バガラン液剤	500~700ml/10a	1	1	1																																																																																				
植調剤																																																																																									
					合計	6	0	0	12																																																																																
農薬の使用回数	6																																																																																								
地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	12																																																																																								
削減率 (%)	50.0%																																																																																								
(7) 雑草防除	上記のとおり、体系防除、耕種的、畦畔除草による減農薬を意識した除草管理																																																																																								
(8) 水管理	深水管理による雑草、稲の生育を考慮した管理																																																																																								
(9) 収量の状況	化成肥料に比し、収量減少となるが、品質(食味)向上に努めている。																																																																																								
(10) その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・食味にこだわった作り方(堆肥、有機質肥料の施用) ・木島平米は、安全安心を求め、より向上させることが研究会活動である。 																																																																																								

3 販売状況	(1) 主な販売地域	主に関東方面	主に関東方面
	(2) 販売方法	JA(個人販売：木島平特別栽培米として別扱い)	「村長の太鼓判」として合格木島平米を村農業振興公社を通じ販売。
	(3) 県認証の活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・認証を受けるのが前提(特別栽培基準に沿った栽培) 	<ul style="list-style-type: none"> ・マーク活用による安心安全をPRした有利販売
	(4) 実需者や消費者の反応、メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている人は、求めてくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・県認証が普通となった今、有機栽培研究会への発展を検討。

<栽培状況等の写真>



いもち病発生予察機
「たけだくん」



温湯種子消毒機



畦畔除草



完熟牛糞堆肥
「ふう太のゆうき」



木島平米
「村長の太鼓判」